

バリアバリュー ―障害を価値に変える―

（株）ミライロ代表取締役
垣内 俊哉



*17歳で3度、自殺を考えた

*障害が価値に変わることを体験

*明治時代以前は障害者を差別していない

*加速した障害者の権利を見直す動き

*改正された障害者解消法について

*日本はバリアフリーでは世界一

*これから変えるべきバリアは何か

*障害者手帳の電子化に取り組み

*マーケットとしての障害者向け需要

*SDGs、ESGを追い風に

柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

最初に連絡事項でございます。この夏は来週から天井の耐震強化の工事がありますので、今日が最終日で9月までお休みでございますが、よろしく願います。

今日はミライロ代表取締役の垣内さんにおいでいただきました。後でゆっくりご自身からお話があるかと思いますが、平成元年のお生まれで、立命館大学在学中、2年のとき現在の会社を立ち上げられ、今はその代表取締役をされておられます。たいへん若い社長さんで、社会的にいろいろなことを熱心に行っておられますが、日本の未来をつくる重要な会社の一つであると私は考えております。

それでは垣内さんよろしく願います。（拍手）

17歳で3度、自殺を考えた

垣内 昭和6年、経済倶楽部が設立して90年、今日は4423回目と伺っております。そのような歴史ある場でお招きいただきましたこと、本当にありがとうございます。

今私たちが暮らす日本は大きな変化と向き合っております。それは少子化という一つの流れ、ますます進む高齢化も同じ。今この現実と向き合う中で日本は新たな流れが生まれています。新たなイノベーションが、新たなサービスが。これから私たちが誰と向き合い、何を取り組むべきなのか、本日はお伝えしてまいります。